

外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関の選定について

(1)各都道府県に求められる取組(総論)

- 我が国全体で観光立国が推進される中で、各都道府県においても外国人観光客の増加による地域の活性化に向けてそれぞれ取り組みが進められているが、一方で訪日外国人が安心・安全に医療を受け、帰国できる体制の整備についても併せて取り組むことが求められている。
- このためには、各都道府県の衛生部局が観光部局等と連携し、また、管内の市町村や医師会・関係団体とも連携して、2019年のラグビーワールドカップの開催や2020年のオリンピック・パラリンピックの開催も念頭に体制づくりを進めることが必要。
- 政府としても取り組みを推進するために、6月14日に「訪日外国人に対する適切な医療等の確保に関するワーキンググループ」が開催されたところであり、厚生労働省としても自治体・関係団体と協力して、訪日外国人・在留外国人が安心・安全に医療機関を受診できる体制づくりに向けて取り組みを推進することとしている。
- このような状況を踏まえ、都道府県が、それぞれの地域の実情に応じた具体的取り組みを進めることが求められる。検討課題としては、例えば次のようなものが考えられる。
 - ① それぞれの地域における実態・課題等の把握
 - ② 外国人の受入が可能な医療機関の選定
 - ③ 外国人を受け入れる医療機関の受入体制の整備
 - ④ 外国人を受け入れる医療機関向けの医療通訳や翻訳機器等の活用体制の整備
 - ⑤ 外国人を受け入れる医療機関における円滑な支払の確保に向けた体制の整備
 - ⑥ 外国人を受け入れる医療機関に関する関係者間での情報共有
 - ⑦ 地域の医療機関・行政の担当窓口の体制整備
 - ⑧ 地域の行政・医療機関・消防・旅行・宿泊等の関係者による連携体制の構築 など
- 厚生労働省は、2018年6月の都道府県衛生部長会において、都道府県に対して、以下の取組を依頼すると予告したところ「地域における外国人患者の受入拠点となる医療機関」を選定すること
 - 都道府県毎に、「重症例を受け入れ可能な医療機関」を1カ所以上選定
 - 外国人観光客が多い二次医療圏では、「軽症例の受け入れ可能な医療機関」を選定

外国人患者に対する医療提供体制整備等の推進【新規】

平成31年度予算案 1,518,259千円 (0千円)

背景

- 平成29年の訪日外国人は2,869万人にのぼり、訪日外国人が増加する中、外国人患者が安心・安全に日本の医療機関を受診できる体制を整備することが重要である一方、医療機関においては、意思疎通や未収金発生の問題などの課題が指摘されている。
- 「自民党政務調査会 外国人観光客に対する医療PT」が、「外国人観光客に対する快適な医療の確保に向けた第一次提言」(平成30年4月27日)を取りまとめ、以下の対応策を行うことが求められた。
- 政府の健康・医療戦略推進本部の下に「訪日外国人に対する適切な医療等の確保に関するワーキンググループ」が設置され、「訪日外国人に対する適切な医療等の確保に向けた総合対策」(平成30年6月14日)が取りまとめられた。

「外国人観光客に対する快適な医療の確保に向けた第一次提言」における要望(抄)

- **外国人観光客を医療機関等へつなぐ協力体制整備**
 - 国は、特に外国人観光客の受診が急増している地域等において、**対策協議会の設置**やそれに基づく地域横断的な仕組みを構築するモデル事業を2019年度中に開始する。
- **医療機関等の窓口における外国人観光客対応力の向上**
 - 自治体と関係機関の緊密な連携のもとに実施できるよう必要な支援を行う。また(略)**ワンストップの対応を行うために、自治体に窓口を設ける。**
- **医療機関等における外国人観光客への研修強化**
 - 医療文化・習慣の相違に配慮した診療提供のための研修を厚生労働省が観光庁等の関係省庁や自治体と連携して行う。
(略)また、厚生労働省は、地域の実情に応じて、**重点病院等において活躍する外国人向け医療コーディネーターの養成**と配置を進める。
- **医療機関等における医療通訳・多言語対応の体制整備**
 - 医療機関等における**多言語でのコミュニケーションの体制整備を行う。**(略)2019年度中に、少なくとも**地域の外国人観光客受入の拠点となる病院には必要なICTツールがインストールされたタブレット等が完備されるようにすべき**である。
 - **希少言語については、**国内に医療通訳のニーズも少なく、加えて、通訳者が少ないことから、民間事業者としては、運営整備が困難である。海外では、希少言語の医療通訳に関しては、政府が一元運営している事例もあることから、**整備は全国単位で考えていく**ことを検討する。

新規に実施する事業

都道府県単位の医療・観光等連携ワンストップ対応

- 都道府県に、地域の課題の協議等を行う業界分野横断的な関係者による協議会を設置し、実態の把握・分析や受入医療機関の整備方針の協議、リスト作成と関係者への周知、地域の課題の協議などを行う。
- 都道府県に、医療機関等から寄せられる様々な相談にも対応できるワンストップ窓口を設置する。



希少言語も含めて対応可能な遠隔通訳サービス

- 民間サービスがなく、行政が通訳者を確保することも難しい希少言語にも対応可能な遠隔通訳サービスを提供。



Sila menjaga diri sendiri
Mangyaring alagaan ang iyong sarili
Выздоровляйте

医療コーディネーター等養成研修

- 医療機関の外国人患者受入対応能力向上のため、医療コーディネーター等の養成研修等を実施。

翻訳ICT技術に対応したタブレット端末等の配置

- 外国人受入の拠点となる医療機関に、受付から支払までの流れを一貫して支援することが可能な翻訳ICT技術に対応したタブレット端末等を配備

本県の「外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関」の選出方針等

○協議事項

- ①「外国人患者で入院を要する救急患者（重症例）に対応可能な医療機関」の選出（都道府県で1カ所以上）
- ②「外国人患者（軽症例）を受入可能な医療機関」の選出（二次医療圏で1カ所以上）
- ③その他、外国人患者を受け入れるにあたっての課題や対応 等

○スケジュール

- 7月 ・ 医療機関に対する外国人患者受入拠点施設への選出意向等調査（現状の体制把握含む）
- 8月 ・ 外国人患者の受入実績や選出方針等について、地域医療構想調整会議で協議
- 9月 ・ 医療、消防、観光・宿泊、多文化共生等の関係者で協議のうえ医療機関を選出（9/30まで）
⇒2020年以降は、外国人受入実績や課題を確認し、新たな指定など必要に応じて見直し

○選出方針

- ・ 重症例を受け入れる医療機関を県で1施設以上、軽症例を受け入れる医療機関を二次医療圏ごとに1施設以上選出することとし、県調査等で受入意向がある医療機関を候補とする。
- ・ 候補の医療機関について、①通訳体制、②情報提供体制、③マニュアル整備 等の受入体制を把握し、議論のうえ選出する。
- ・ 今後の訪日外国人患者数の動向等をみながら、引き続き追加選出等について検討。

外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関の候補および受入体制

◎は対応済み、○は未対応だが今後対応予定、×は未対応かつ対応予定なし

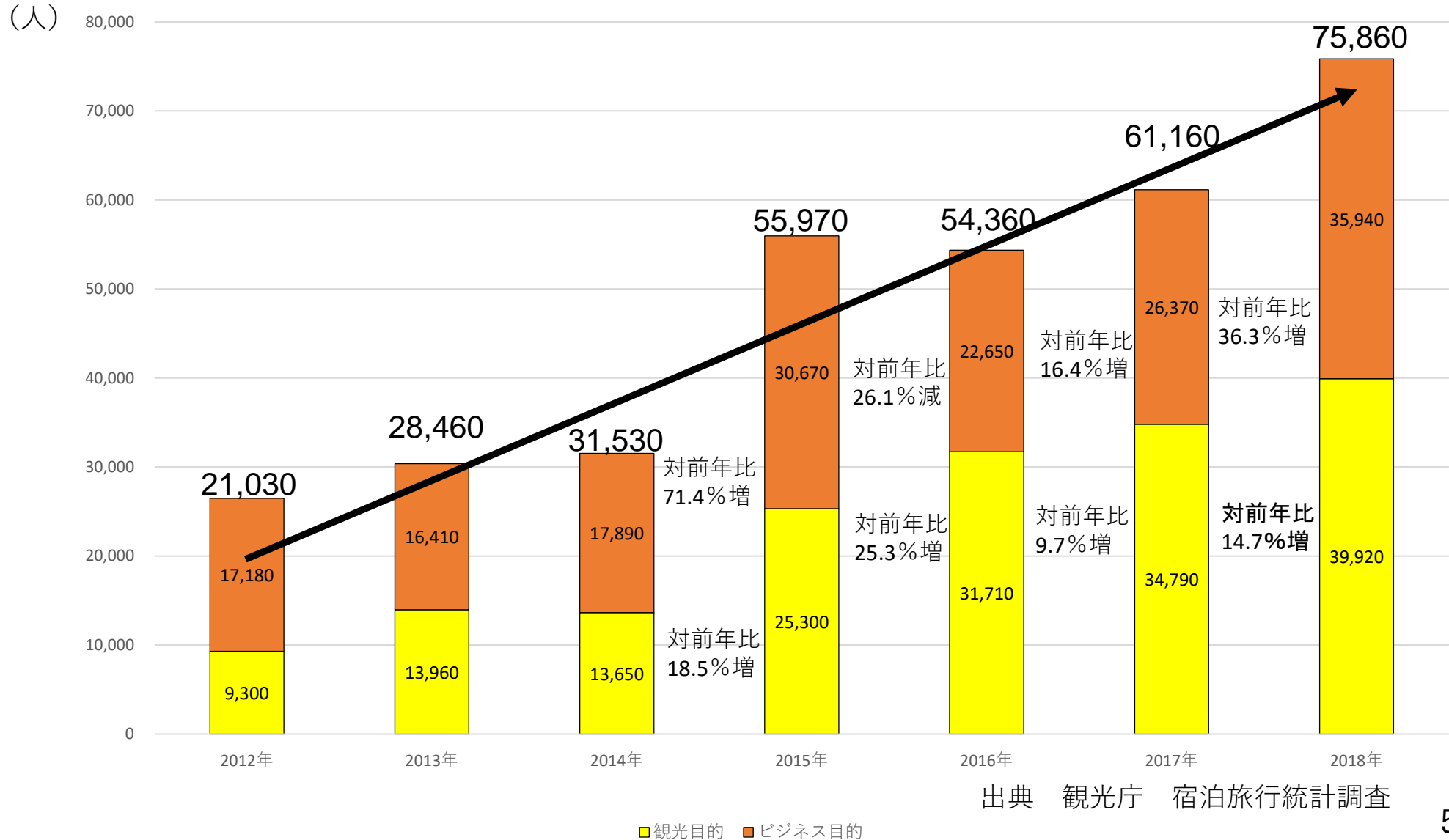
重症例					
圏域	医療機関名	①通訳体制	②情報提供体制	③マニュアル整備	④院内文書の多言語化
全県	福井大学医学部附属病院	◎	◎	○	○
	福井県立病院	○	○	○	○

軽症例				
圏域	医療機関名	①通訳体制	②情報提供体制	③マニュアル整備
福井・坂井	福井大学医学部附属病院	◎	◎	○
	福井県立病院	○	○	○
	福井赤十字病院	○	◎	○
	福井県済生会病院	◎	◎	◎
	福井中央クリニック	◎	○	○
奥越	福井勝山総合病院	○	会計部門で表示対応	○
丹南	公立丹南病院	◎	○	○
	中村病院	◎	○	○
嶺南				

- ①通訳体制… 医療通訳の配置、電話通訳の利用、通訳に資するタブレット端末等の配備 のいずれに対応
 ②情報提供体制… 病院ホームページの多言語化、院内表示の多言語化 のいずれかに対応
 ③マニュアル整備… 外国人患者に対する対応手順の取り決め に対応（国が作成したマニュアルの周知等含む）
 ④院内文書の多言語化… 手術の同意書等、本人同意を求める文書の多言語化 に対応

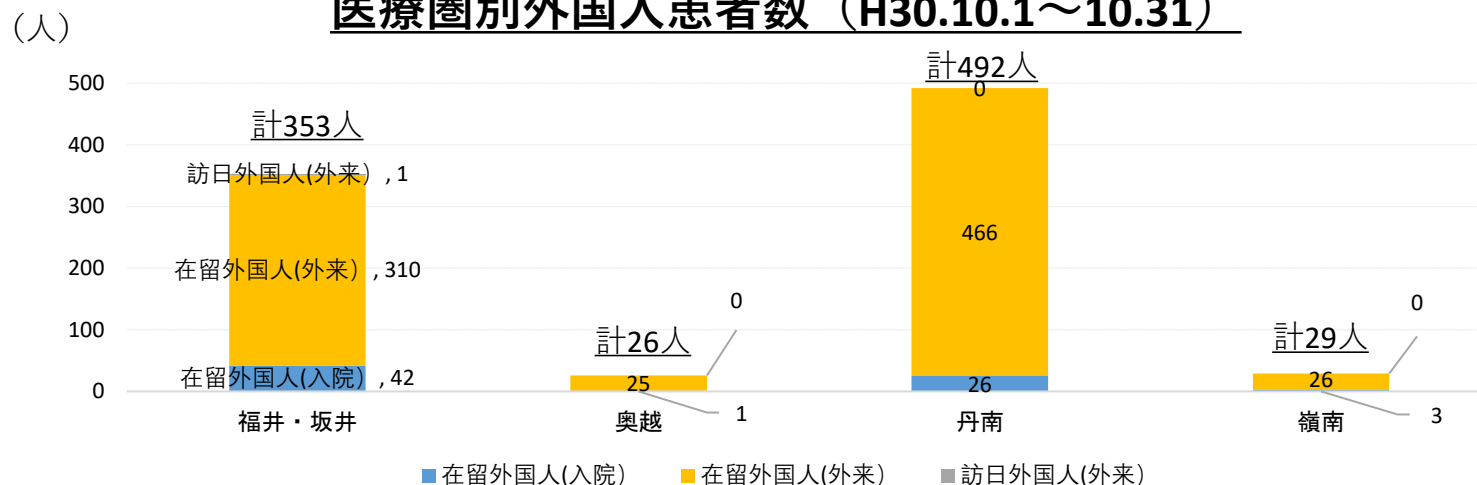
福井県内の外国人宿泊者数の推移

○ 2018年は外国人宿泊者数が7.6万人と過去最高

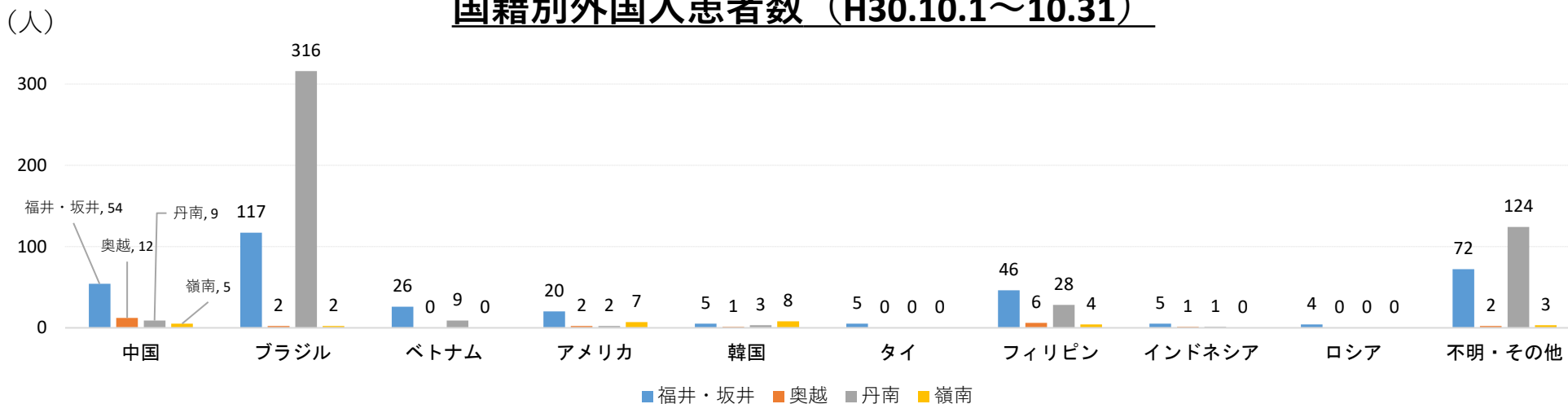


県内病院の外国人患者受入状況

医療圏別外国人患者数（H30.10.1～10.31）

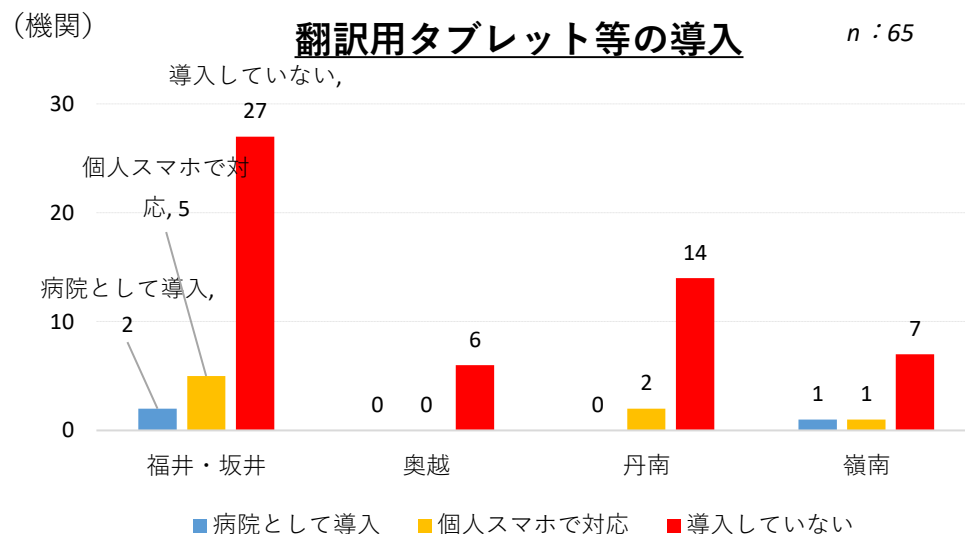
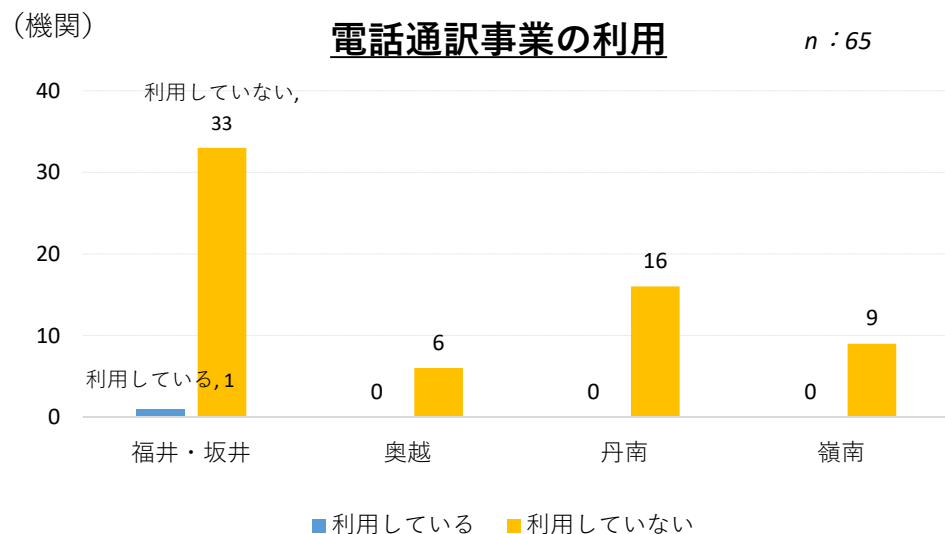
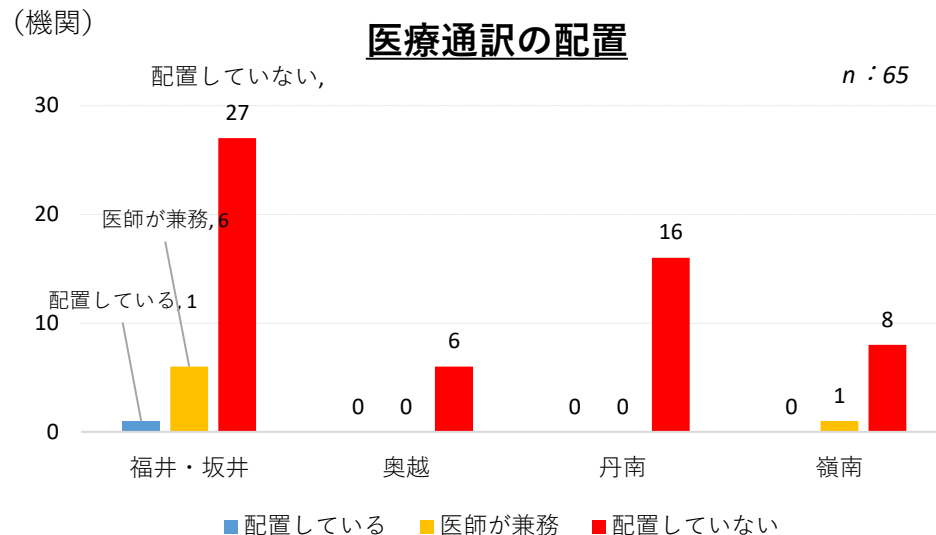
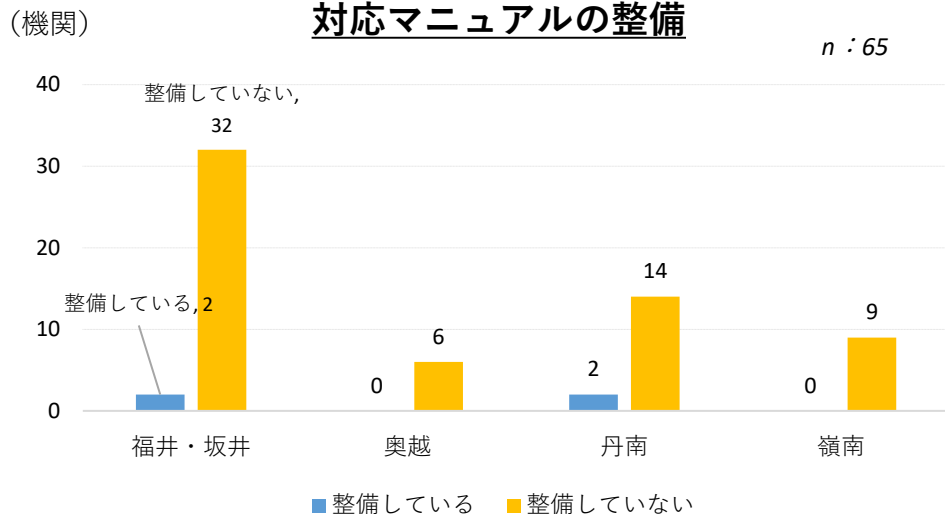


国籍別外国人患者数（H30.10.1～10.31）



※「外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関の選出に係る調査」（R元.7月地域医療課が病院対象に実施）

県内病院の外国人患者受入体制①



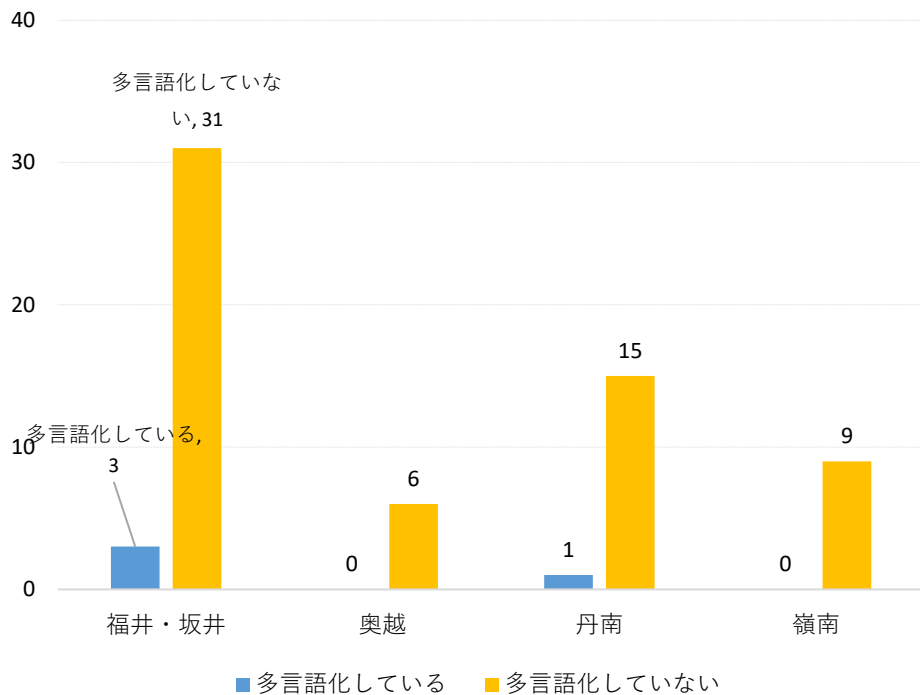
※「外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関の選出に係る調査」(R元.7月地域医療課が病院対象に実施)

県内病院の外国人患者受入体制②

n : 65

(機関)

院内表示等の多言語化



n : 65

(機関)

ホームページの多言語化

